



## 発想の転換

学校が本格的に再開してから約1ヶ月がたちました。子供たちは、朝の検温や日常的な手洗い、マスク着用は定着していますが、人との距離の確保は難しいようです。登下校や休み時間は、つい友だちとの距離が近くなってしまいます。

学校生活の中では不便なことがまだたくさんありますが、今までと同様の生活を望んでいても仕方ありません。できないことをどうすればできるのかを考え、実行することが大切です。全てが今まで通りとはいかず、今後もたくさんの制約がある中で学校生活が進んでいくこととなります。今までの「当たり前」が「当たり前」ではなくなり、ついつい「～だからできない」と、この状況や自らの弱い心を理由にして、消極的、否定的になりがちです。こんなときこそ、**発想の転換**が必要であると考えます。

「 <b>時間がないからできない</b> 」	ではなく	「 <b>限られた時間でできることはないか</b> 」
「 <b>制約があるのでできない</b> 」	ではなく	「 <b>与えられた環境の中でできることはないか</b> 」
「 <b>従来通りのことができない</b> 」	ではなく	「 <b>できる方法はないか</b> 」

もちろんそれだけで全てがうまくいくわけではありません。どうにもならないことだってたくさんあります。でも、「どうしたらできるか」と考えることで、「本当にできるかも」と思えてくるものです。そのような経験の中で、自信がもてるようになり、自分で解決する力が付いたり、できることが増えたりして、少し成長した自分を感じられることにつながることでしょう。

「**できない理由を探すより、どうすればできるかを考える**」(松下幸之助氏の言葉)

これからの時代を創造的に乗り越えていく力となるのではないのでしょうか。

### 委員会活動が始まりました

6月18日(木)に、第1回委員会活動がありました。それぞれの委員会の委員長、副委員長等、役員を選出し、各委員会の目標や活動内容等を話し合いました。境剛志小学校には、10の委員会があります。6年生・5年生の全員が所属し、学校全体に関わる様々な活動に携わります。自分に任された仕事をすることで、学校全体の生活が豊かになり、全校児童が気持ちよく生活できます。また、自分の仕事をする中で責任感が育まれ、自己有用感を感じることがもできます。6年生・5年生の皆さんが学校のリーダーとして活躍していくことを期待しています。



【コンテナ室での活動】



【図書室での活動】



【飼育小屋での活動】

### 授業時数の見直し

群馬県では、学校の臨時休業の長期化に伴い、文部科学省が定めている授業時間数の見直しを行い、各教科の最低実施しなければならない実施率を次の通りとしました。

「国語」「社会」「算数」「理科」「英語」「音楽」「図工」「体育」「家庭」…70%

「生活」…60%

「道徳」「学級活動」「総合的な学習の時間」…30%

上記の実施率を確実に履行するため、「道徳」「学級活動」「総合的な学習の時間」を他の教科の指導に振り替えたり、学校行事の精選・縮減を行うことをご理解願います。

### 今年の夏休み

以前にもお知らせしましたが、夏季休業は短くなります。

7月20日（月）～21日（火）通常授業

7月22日（水）～31日（金）4時間授業（簡易給食）。7月31日（金）1学期終業式

8月1日（土）～8月23日（日）夏季休業日。勉強塾、プール開放はありません。

8月11日（火）～8月14日（金）学校閉庁期間です。職員は出勤していません。

8月24日（月）2学期始業式。4時間授業（簡易給食）

### 歯みがきタイムを再開します

歯みがきによる飛沫、ブクブクうがいとその水の吐き出しなどは、ウイルス感染のリスクがあるのではないかとこの考えから、給食後の歯みがきタイムを見合わせていました。しかし、感染症予防には日頃の「手洗い」「うがい」「**口腔衛生**」の励行が大切と言われており、感染リスクを軽減しつつ、給食後の歯みがきを行うことは大変重要であると「日本学校歯科医会」は提言しています。身体的距離や換気、うがい後の吐き出し、私語を慎む、ゆずり合う気持ち等を指導しながら、7月から給食後の歯みがきタイムを保護者様任意のもと、再開します。

## 熱中症 予防

梅雨空による天候不順が続き、また、今年はコロナウイルスによる外出自粛を行っていたため、体が暑さに慣れておらず、熱中症になるリスクが高くなっています。1学期の期間延長に伴い、熱中症予防は例年以上に重要になってきます。

予防方法として

○水分をこまめにとる。→必要に応じて授業中、登下校中でも水分をとる。

○規則正しい生活を心がける。→「早寝・早起き・朝ご飯」が大切。朝ご飯の時に塩分補給（味噌汁等）を心掛けてください。

○温度変化に対応できる衣服の着方をする。→下着や白・淡色の服、帽子の着用

熱中症にならないようにするために、体育の授業では人との距離を確保してマスクを外し、授業を行っています。また、20分休みに校庭で遊ぶ場合は、手洗いの徹底と十分な距離を保つことで「マスクの着用はしなくてもよい」としています（登下校中も同様です）。自分の体と安全は自分で守ることの指導を徹底していきたいと思っています。

